

松江高校故地を訪ねて

2010.09.22

松江高校8期生 木下 勲

松江高校故地を示した記念碑があるというので、8月下旬帰松の折、同期の加藤尚子（旧姓押田）さんに案内を乞い、猛暑の中訪ねてきました。場所は、旧県営プール敷地の裏側、昔ではもちろん校内であろうと思われるが、場所は不明。記念碑の周りの雑草を二人して踏み固め、やっと写真を撮った。碑の句、文は、松江北高移行時の兼折博校長先生のもので、ともに簡にして当をえた名文です。下に位置を示す地図をそえ、その写真と句、文を掲載します。加藤さん、あの炎天下の下お世話になりました。



若かりし日の わが夢ぞ そこに狭霧(さぎろ)ふ

松江北高校跡地之碑



記念碑の背面

昭和二十四年、南北両校舎に分れて発足した松江高校は、翌二十五年秋、ここに両校舎の地を校地と定めた。

松江高女の故地である。三十六年、松江南高校設立とともに、名を北高校と改め、五十三年秋、北部土地区画整理事業のため、松江中学の故地赤山に居を移したが、その間、ここに学び、この地より巣立てる 一万四千有余名、まことに若きいのち燃え、夢ふくらむ、青春蕩揺の舞台であった。

いま、学舎の姿なく、校地また昔日の面影をとどめずといえども、此処に託された若者たちの三春は永くこの地にとどまって去ることはない。ここに碑一基を建立し、これが記念とする。

昭和五十三年五月

島根県立松江北高等学校

文 兼折 博

記念碑の位置

